

公民館だより

平成26年5月15日発行【第342号】

題字：前衛書家「吉川壽一」先生

発行元

吉崎公民館

福井県あわら市吉崎 8-34

郵便番号 922-0679

電話 0776(75)1205

komin-yoshizaki@city.awara.lg.jp



『Gobou市』

手作り工芸品などを集めた「Gobou市」が、吉崎寺町通りを中心に、4月26日(土)・27日(日)の2日間にわたって開催され、多くの人で賑わいました。クラフトアーティストの方々に作品の展示販売していただき、今年で5回目の開催となります。

参拝の行き帰りにぶらぶら散歩気分で、手作り品やアンティークがいっぱいのお店に立寄り、店先でスタッフと気軽にお話を楽しむなど、手作り作品の良さとワークショップの楽しさを大勢に知っていただける素敵な市場になりました。

今回は、勝山市より東日本大震災復興支援実行委員会のメンバーも参加して、陸前高田市など被災地の物品を販売しました。

また、期間中は、路上パフォーマンスとして、独舞公演(今貂子(いまたんこ)や路上ライブ(ウッドカンパニー他)があり、両日とも多くの人で賑わいました。吉崎振興会を中心とした「GOBOU市」実行委員会の皆さんお疲れ様でした。



お知らせ

6月13日(金) 市民健康集団検診(場所：吉崎公民館)



4月17日(木)、真宗本廟・阿弥陀堂にて、「蓮如上人御影吉崎別院御下向式」が執り行われたあと、御影は御輿に納められ「蓮如上人、東本願寺をお立ち～」のかけ声と共に、御影道中の一行は上人が歩いたといわれる、約240キロの道程を7日間かけて吉崎東別院まで「御影」を運びます。

4月23日(水)午後7時30分、「御影」はホウズキ提灯を手に大勢の地域住民や門徒衆・見物人が出迎える中、吉崎に無事にお着きになりました。「蓮如上人さま、吉崎にお着き～」との掛け声の中、「御影」は東別院が仕立てた煌びやかな「御輿」に乗せ替えられて、東西別院の提灯(高張り)を先頭に、灯籠(提灯)で飾られた山車、御輿、高張り提灯、その後、ホウズキ提灯を手にした参加者が続きます。

太鼓や鐘が打ち鳴らされ、見物客から「蓮如さん、お帰りなさい」と歓声が沸き起こり、境内と大階段の両側に集まった大勢の門徒は合掌して御影を出迎えます。

また、高張り提灯が足元を照らし出す中、「東別院の大階段」を一気に駆け上がる様は見物です。

真っ暗な中、高張り提灯と赤いホウズキ提灯の灯りが幻想的な雰囲気をかもち出し華麗ながらも荘厳な気分に入ることができます。

これより、5月2日(金)までの10日間、御忌法要が執り行われ大勢の参詣者で賑わいます。

300有余年にもわたって連綿と続けられてきた「蓮如上人御影道中」を通じ、吉崎の伝統と歴史の重みを感じるとともに、継続していくことの大切さを実感します。

『蓮如さんが、今年もお通りになる!』

御影道中は、蓮如上人の没後、北陸での教化のご苦勞とその徳を偲んで吉崎御坊(吉崎東別院)で厳修される御忌法要に、上人の御影を本山よりお迎えして勤められたのが始まりであると伝えられて、江戸時代に始まり、今年で341回目を迎えます。





『提灯行列』に彩を！

4月23日(水)、蓮如上人の御影をお迎えする「御影道中；提灯行列」(吉崎振興会主催)が行われ、たくさんのお迎えの人で賑わいました。

橋本あわら市長をはじめ、笹原市議会議長、宮元加賀市長にご参加いただき、県道吉崎口をスタートした御輿は、高張り提灯やホウズキ提灯を持った地元町内の皆さんや多くの門徒衆、見物人が参加するなか、中鍛冶通り、寺町通りを巡り東別院まで行列を整え練り歩きました。

また今年も、前田健二あわら市観光協会会長と、あわら温泉「女将の会」の皆様にも参加いただきイベントに華を添えて頂きました。

「シャシャムシャ踊り」を披露！

4月27日(日)、市内の旧跡と蓮如上人ゆかりの地を訪ねる「蓮如の里・ふるさとの道を歩く会」(ゆうゆうと輝く市民の会主催)が行われ、あわら市役所から出発した88名の参加者は、「蓮如忌」で賑わう最終目的地・吉崎御山までの約10Kmを歩いて訪れました。

歓迎の意味も込め、シャシャムシャ踊り保存会(加賀市塩屋町)のメンバーが加賀市無形民俗文化財「シャシャムシャ踊り(蓮如おどり)」を披露し、初めて見るという方も多く、大きな拍手を頂きました。保存会の皆さんありがとうございました。



『御山のぼんぼり』

4月13日(日)、蓮如忌を23日に控えた御山(国指定・吉崎御坊跡)で、ぼんぼりの設置作業が行われました。晴天の下、青壮年団が丁寧に1本ずつ取り付け祭りムードが徐々に高まっています。

また、蓮如桜(八重桜)は、まだつぼみの状態ですが、この暖かな日差しで大きくふくらんでいて、蓮如忌期間中が見頃になりそうです。

『今貂子舞踏公演』

京都を拠点に世界的に活動をされている「今貂子(いまたんこ)」さんが、東西別院を背に踊りました。

白塗りの姿で現れた貂子さんは、手の先から足の先まで全て舞踏という感じです。吸い込まれるような踊りは、あやしい空気を醸しだしており、顔の表情、手の指、足の先の動きからは日本古来の儀式の舞のように、人の喜怒哀楽が伝わってきます。始終緊張感のある貴重な舞に、新しい世界を見た感じで新鮮に感じられました。また、衣装もステキでした。



『県道沿いのゴミ拾い』

4月13日(日)、蓮如忌を迎えるに当たり区民総出で「御山掃除と空き缶拾い」が行われました。恒例の空き缶拾いでは、御山周辺から旧細呂木地籍の県道までの広範囲にわたり行いました。

終わってみれば空き缶、空ペットボトル、散乱ゴミなど回収ゴミの山、回収ゴミの中には相も変わらず廃タイヤなどの大型ゴミのほか、空地に大きな木枠を投棄するなど、悪質極まりない不法廃棄物もありました。

不法投棄は犯罪です、地域の環境を損なうだけでなく自然環境の破壊につながり絶対に許すことが出来ない行為です。県道・吉崎～細呂木間がゴミ街道と言われないように、皆で不法投棄の根絶に向けて監視の目を光らせましょう。

交通量の多い県道沿いの清掃、大変な作業でしたが皆様のご協力でゴミを一掃することができ見違えるように綺麗になりました。お忙しい中、日曜日にも関わらずご参加いただきありがとうございました。

■「なかなか減らないゴミの不法投棄に困っています」、不当投棄などを見かけたら、あわら警察署(73-0110)、または市民生活課(73-8017)に連絡し不法投棄者の特徴や車のナンバーを通報して下さい。



吉崎再発見 50 ～吉崎の岩堀場～



吉崎のお山の裾をめぐる石畳と東西両別院の豪壮な石垣は、「蓮如の里」吉崎の基礎であります。

吉崎(岩崎)と浜坂を結ぶ汐留橋(開田橋)は満潮時の塩害防止と湖岸の開田を目的とした慶応3年(江戸時代末期1867年)の大工事でした。

その石材はお山の南側の石堀場から運び出したものです。いずれも江戸時代の代表的な土木工事で、石屋さんらの功績は永く後世に輝いています。

5つの湯船を備えた『芦湯』

あわら市があわら温泉の新たな拠点として建設をしていた、足湯施設『芦湯』(あしゆ)が、あわら湯のまち駅前のあわら温泉湯のまち広場に完成し、4月18日(日)開湯式が行われました。

総ヒノキ造り木造平屋建てで(広さ約132平方メートル)、泉質・温度の違う5つの浴槽があり全て源泉掛け流しです。営業時間は、午前7時から午後11時迄で無休です。施設内には縦2.4メートル、横3.6メートルのスクリーンと2つのモニターが設置され市の観光CMが流されています。是非一度、足を運んでみてはいかがでしょうか!



平成26年度 市民健康診査

6月13日（金）、吉崎公民館にて、平成26年度市民健康集団検診が行われます。

受付時間は、午前8時30分から10時迄で、検査料は下記のとおりです。

特定健康診査・一般健康診査（年齢や加入する医療保険でことなります）



区 分	検査内容	対 象	料 金	健康診査の方法	
				集団健康診査	個別健康診査
特定健康診査	身体計測・尿検査・問診・血圧・心電図・血液検査、内科診察	40～64歳の国民健康保険加入者	1,300円	●	●
		65～74歳の国民健康保険加入者	500円	●	●
一般健康診査		後期高齢者医療保険加入者	無料	●	●
		20～39歳の市民	1,300円	●	—

がん検診など（次の検診は、加入する保険の種類に関係なく受診できます）

区 分	検査内容	対 象	料 金				
			集団検診		個別検診		
			70歳未満	70歳以上			
胃がん	バリウム検査	20歳以上の市民 （個別検診は40歳以上）	無料	無料	無料		
肺がん	無料胸部X線撮影		200円	100円	500円		
大腸がん	便潜血検査		500円	200円	500円		
子宮がん	細胞診	20歳以上の市民 （隔年受診）	41歳未満	41歳以上	300円	41歳未満	41歳以上
			無料	600円		無料	1,000円
乳がん	視触診、マンモグラフィ検査	40歳以上の市民 （隔年受診）	1,000円	600円	1,000円		
前立腺がん	血液検査（特定・一般健康診査日に実施）	50歳以上の市民	600円	300円	—		
歯科	診察	20歳以上の市民	200円	100円	—		
骨密度	前腕のX線検査		500円	200円	—		
肝炎ウイルス検査	血液検査（初回受診者のみ、特定・一般健康診査日に実施）		無料	無料	—		

備考 ※ 6月24日（火）8：30～13：00まで、大腸がん検診検体回収箱を吉崎公民館玄関先に設置いたします。

The時代 吉崎の変遷を辿る ～真宗道場のお話1～

蓮如の里、旧金津町の村落には人々から道場と呼ばれている家が十数軒あります。その中には今は道場役を勤めない家もありますが、おおむね東西本願寺派か高田派の昔の道場の名残です。蓮如ゆかりの道場には、蓮如の書いた六字の名号が掛かっています。この道場という言葉は当時の百姓、町民を救うため蓮如が始めた仏法修行の村道場の意味です。



蓮如は文明5年9月のお文の中で、「月ニ一度ナリトモ念仏修行ノ人々道場ニ集マリ、信心ノ話合ヲスルコトガ、往生極楽ヲトグベキイワレナリ」と説いています。

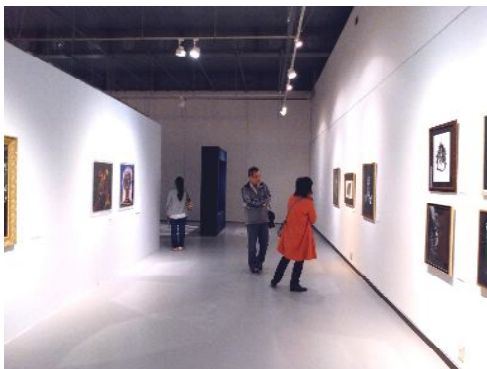
蓮如は寛正6年、京都大谷のお寺が延暦寺衆徒に打ちこわされたので、文明3年5月に吉崎へ来て、御坊を建て真宗本願寺を再興するため、越前・加賀を布教して回りました。その時、蓮如は寺か、また寺がない村では乙名(有力者)の家を道場と決めました。道場では南無阿弥陀仏を書いて床の間に掲げ、勤行を教え車座になって説教をしました。

この道場と講組がしだいに村や町に拡がって、真宗が盛んになりました。しかし5年目に一向一揆が起ったので、蓮如は舟で吉崎を退去し小浜へ上陸しました。そして若狭では田鳥、生玉、須縄、奥田縄などでも道場を設け布教しました。

村道場は長い歴史の間に興廃変遷があって、明治3年、平民も名字をつけることになった時、道場(どうじょう)とか道場(みちば)とかいう名字にした家がありました。それらの家も分家したり、転居したりして福井県や石川県など各地に残っています。

その中には、村道場もありますが、多くは蓮如ゆかりの道場であったようです。

「福井利佐展」 ～進化する切り絵の世界～



「切り画(KIRIGA)」と称する独自の切り絵の表現を展開し、ファッション・音楽・映画・書籍など様々な分野で幅広く活躍する切り絵アーティスト 福井利佐の企画展が、6月15日(日)まで「金津創作の森」で開催中です。

その作品は、グラフィカルで大胆な構図でありながら、繊細できめ細やかな描写が生命力や躍動感を生み出し、観る者を圧倒します。本展では様々な企業やアーティストとのコラボレーション作品をまじえ、進化し続ける福井利佐の切り絵の世界を紹介

します。

「福井利佐展」のご観覧券が少し公民館にあります。差し上げますのでお散歩気分でお出かけになっては・・・連絡下さい。

参加者募集 切り絵ワークショップ

金津創作の森で、切り絵アーティスト福井利佐さんと一緒に切り絵を楽しもう！！

『～創作の森の生き物たち～』 6月7日(土) 13:00～16:00

対象：小学1年生～6年生の親子 定員：15組30名(先着順) 参加料：500円(1作品)

『～ことばを切り絵で作ろう～』 6月8日(日) 10:00～15:00

対象：高校生以上 定員：30名(先着順) 参加料：500円(1作品)

申込期間：4月15日(火)～5月31日(土) ※ 定員になり次第〆切

申込先・連絡先：吉崎公民館 ☎：0776-75-1205

『駐在さん、だぁ～い好き！』 —その23—

こんにちは、吉崎駐在所の宮越通安です。

平素は、警察行政各般にわたり多大なご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

1.春の山岳遭難にご注意ください。(「山菜とり」も油断なさらずに！山は人の命を奪う)

これからの季節は、山岳登山や山菜とりで山に行かれる方もいらっしゃると思います。しかし、**例年必ず、この時期に山に入り命を落とす方が出てきます。**登山を趣味とされている方はもとより、山菜を採るためだと軽い気持ちで入山される方は、山を決して軽く見ず、**最悪の事態を想定した十分な準備**をなされてください。そのためには、次の8原則を参考にされてください。

- ① 無理のない「余裕のある計画」をたてましょう。
 - ② テレビ・ラジオで事前に「気象情報」を把握しましょう。
 - ③ 必ず「携帯電話」を携行しましょう。
 - ④ 「単独」での入山は止めましょう。
 - ⑤ 「下山中」にこそ、道迷い・滑落に注意しましょう。
 - ⑥ 天候の急変など危険を感じたら「無理をせず下山する勇気」を！
 - ⑦ 「日没前に帰宅」できるような時間配分を！
 - ⑧ 体力に自信がある人ほど、思わぬ落とし穴（滑落など）に遭うことがあります。
- 楽しい行楽にするため、ぜひご注意ください。



2. (好評再掲載中！) 泥棒が泥棒を諦める瞬間ベスト10

好評につき、「泥棒が泥棒を諦める瞬間ベスト10」を再連載中です。今回は第8位を解説付きでご紹介します。泥棒の被害に遭わないのが何より一番大切ですので、皆様一人ひとりの防犯に対する意識が高まり、犯罪の未然防止に役立てば幸いです。

第8位 窓に合わせガラスが入っていた。

泥棒は、侵入口を探します。それは、自分の逃走口でもあります。

泥棒は、ガラスの鍵の部分を作り、クレセント錠を開けて侵入してきます。ガラスが「二重ガラス」であったり、ガラスに「防犯シート」が貼付されているような場合、鍵を開錠することができません。二重ガラスや防犯シートの全面貼付には費用がかかりますので、クレセント錠の部分だけでも結構ですので、「防犯シート」を貼ると防犯に効果があることが分かりました。

『今月のことば』 一飯之恩 (いっぱんのおん)

「一飯」は、一度の食事。一わんの飯。

一回の食事をごちそうになった恩義。ほんの少しの恵み。また、ささやかな恩義であるがそれを忘れてはいけないという戒めの語です。

恩というのは、狭い意味では、人からさずかる恵みを指していますが、広義には、天地あるいはこの世界全ての存在からさずかる恵みも指しています。

世に、「恩を忘れるな」ということがやかましく言われるのは、本を忘れるなという意味です。食事も、衣服も、自分の力でできたものではありません。

日々、感謝の気持ちを忘れないで生きたいですね。

一飯之恩



【ふるさとクロスワード】

*答えの解った方は、公民館まで連絡して下さい。正解者には、年度末に素敵な賞品が当たる抽選券を差し上げます。(×切は6月10日)
先月号の回答は「病院」で、Aの「保険証」でした。


今月の問題
パズルの中のAからDの4文字を並び替えて組み合わせ、ある言葉にして下さい。その言葉と一番関係の深いものは、下の3つのうちの何でしょうか。
(A ; 飛行機、 B ; 運動場、 C ; 和風建築)

1	7	9	11		17	20
2					18	
			B			
		10		14		
3	8			15		21
					C	
4			12		19	
5			13	16		
6						
		A				

【よこのヒント】

- ① ; 吉崎蓮如忌も終わりました。蓮如さんの自画像を京都からお連れする吉崎東別院の行事は、「〇〇」とよばれ、吉崎へのご下向は7日間、京都へお帰りになる御上洛は8日間、全て歩いて行きます。
- ② ; しそこない。失敗。
- ③ ; 注意の足りない事。うっかりしている事。
- ④ ; 飲酒運転はやめましょう。車で出かけてお酒を飲んだ時は、〇〇運転をしてくれる会社がたくさんありますから、是非利用してください。
- ⑤ ; 帰りの反対。
- ⑥ ; 古くから吉崎では、弥生式土器が見つかる場所がありました。それ以前の〇〇土器も、北潟湖周辺で見つかる場所もあるそうです
- ⑩ ; 江戸時代、町奉行所などで、役人(与力・同心)の廃下で動いた人の事を〇〇と呼びました。「おかつぴき」とも呼ばれていますが、代表的な人は銭形平次などです。
- ⑬ ; 会議などで、練りあがった案になる前の、おおもとなる案のこと。
- ⑮ ; 仏教の開祖。
- ⑱ ; 「詠」と書いて〇〇と読みます。蓮如さんはたくさん〇〇を読まれていて、ご詠歌と呼ばれています。
- ⑲ ; 南の反対。

【たてのヒント】

- ① ; ある物事を、非常に大切に保持すること。「あの人は昔一緒に撮ったアイドルとの写真を、〇〇に、財布の中に入れて持ち歩いているんだよ」などと言われます。
- ⑦ ; 四苦八苦の一つ、「怨憎会苦」は、おんぞう〇〇と読みます。
- ⑧ ; 胸のすくようなすぐれた行いの事。野球では、「ノーヒットノーランの〇〇達成」などと言います。
- ⑨ ; 弱い子をいつもいじめる子どもの事。
- ⑪ ; バターライスや具の入ったピラフに、ホワイトソース・チーズをかけて、オーブンで焼いた料理の事。
- ⑫ ; ことわざで、「〇〇方便」という言葉があります。
- ⑭ ; 「借り」の反対。
- ⑯ ; まんじゅうやパンなどに入れる、小豆でできた甘いものは?
- ⑰ ; 右のマークは何の意味? 
- ⑳ ; 童謡とか唱歌とか・・・
- 21 ; パソコンには丸付き数字が㉑までしかありませんでした。いろいろ手段を探して、パソコンをしていたら〇〇がこりました。



おしらせ

- 5月25日(日) グランドゴルフ大会 (吉崎小学校グラウンド)
- 5月18日(日) 伊藤大輔 JAZZ コンサート (金津創作の森)
- 6月13日(金) 市民健康集団検診 (吉崎公民館)